

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時：令和6年9月12日（木）

13:30～14:15（5校時）

場所：出雲市立朝陽小学校体育館

対象者：6年生 34名

- 1 主題 奈良時代と奈良の大仏
- 2 ねらい 「奈良の大仏」について体験的・専門的に学び、その大きさを実感することを通して、大仏に込められた先人たちの思いに触れ、歴史に対する興味・関心を高める。
- 3 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
1 講師の紹介（2分） 本時の流れの確認	○担任担当
2 奈良の大仏、体験内容等の説明 （15分） ・奈良の大仏の意義、製作技術についての説明を聞く。 ・奈良時代の地域の様子についての説明を聞く。 ・パネルの組み立ての手順について説明を聞く。	○講師担当 ○事前に奈良時代の指導を行う。（担任） ○協力して活動できるように班を決めておく。
3 大仏パネルの組み立て体験（15分） ・1㎡のパネルを組み立て、高さ1.8mの大仏を完成させる。 ・記念撮影を行う。	○靴を脱いで作業するよう指示する。 ○完成後2階からパネルを見ることで大きさを実感できるようにする。
4 まとめ（5分） ・体験活動のふりかえりを行う。 ・質問タイム	○担任担当 ○時間が短く全員の発表は難しいので、感想用紙を用意する。
5 片付け（15分） 終わりの挨拶	○講師担当 ○協力して作業できるように適宜指示を出す。

4 準備物 小学校：長テーブル 4台 マイク カメラ

5 その他 講師来校時刻12:30（体育館、相談室①）